

科目名称	社会福祉	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	菊池 祐志 鬼頭 裕美	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (社会福祉士) ☐ 無	

【1】 授業概要

生活者の健康を保障する社会の制度を理解し、それらを社会資源として活用できる基礎知識を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 社会福祉と社会保障制度の関連について学び、対象に看護師として活用できる社会資源を理解する。
2. 日本の社会保障制度と社会福祉の動向及び現状を理解する。
3. 社会福祉の概念や概要を学び、保健・医療・看護・福祉の関連性を理解する。
4. 高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉分野のサービス内容を理解する。
5. 社会福祉援助技術の概要を学び、社会福祉実践と保健・医療・看護との連携について理解する

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態	教員
1	社会福祉の理解と動向:我が国の社会福祉の歴史的変遷と原理および動向とソーシャルワークの基本的視点について理解を深める。(社会福祉の対象と我が国の社会福祉の実施体制について)	講義	鬼頭 裕美
2	社会保障制度の全体像:社会保障制度の歴史的変遷と概観・動向について理解を深める。(社会保障の定義ならびに我が国の社会保障制度の概観について)	講義	
3	障害者福祉の理解(1) 身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法等、我が国の障害者福祉関連法律の全体像について理解を深める。(我が国の障害者福祉の概観と関連する法制度及びノーマライゼーションの理念等について)	講義	
4	障害者福祉の理解(2):障害者総合支援法および障害者福祉の関連施策の概要と動向について理解を深める。(障害者総合支援法とインクルーシブ教育等について)	講義	
5	児童家庭福祉の理解(1):児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法・児童虐待防止法等、我が国の児童福祉関連法律の全体像について理解を深める。(我が国の児童家庭福祉の概観と関連する法制度について)	講義	
6	児童家庭福祉の理解(2):児童福祉施設の機能・役割と児童虐待防止施策・貧困対策等の概要・動向について理解を深める。(各児童福祉施設の概観と、児童虐待防止施策・貧困対策・少子化対策・子育て支援等について)	講義	
7	医療・看護と福祉との連携(ソーシャルワークについて):医療ソーシャルワーカーの役割・活動の概要等から医療・看護と福祉の連携について理解を深める。(ソーシャルワークの枠組み及び医療現場における医療ソーシャルワークの実践について)	講義	
8	社会保障制度の概念、社会福祉と看護の関係	講義	菊池 祐志
9	社会福祉の法制度	講義	
10	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
11	医療保障	講義	
12	介護保険	講義	
13	所得補償	講義	

14	公的扶助	講義	
15	我が国の社会福祉の展望[45 分間] 我が国の社会福祉の展望について理解を深める。(我が国の社会福祉の課題及び時事的事柄について) 筆記試験 筆記試験	講義	鬼頭裕美 菊池祐志

【5】評価方法

筆記試験(100 点)

田中先生 50 点 菊池先生 50 点 合計 100 点 各々30 点未満の場合は再試験または確認試験を行う。

【6】教科書

福田素生:系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉(第 25 版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】参考書

なし

【8】受講生へのメッセージ

田中:社会福祉の各領域の法律や各種サービスおよびソーシャルワークについて学び、医療・看護と社会福祉の連携の実際と必要性について理解を深めていただきたいと思います。